

えひめ 地域づくり協働体通信

伊方町の単独事業である「伊方町集落活動サポート事業」。その舞台となった伊方町二見地区について、本通信 8 号でもレポートしていただいた伊方町地域おこし協力隊の竹山和宏さんより、話し合いの内容などをレポートしていただきます。皆さまの地域活動の参考にしていただければ幸いです。

伊方町二見（ふたみ）地区

キーワード：地域内交流、コミュニティ構築

●はじめに

二見小学校は平成 27 年 3 月に 138 年の歴史を刻んで閉校しました。小学校が閉校して「寂しくなった」、「住民が集まる機会が少なくなった」という声を聞くようになりました。そこで、二見地域（二見地区、加周地区、田之浦地区、古屋敷地区、大成地区、鳥津地区）の住民が集まり、話し合いを行ってきましたので、その概要について報告します。

●自分たちの地域には、どんな魅力があるのだろうか？

地域の魅力について、話し合いました。魅力と言っても、景色や食べ物、行事、文化など幅広く、自由にお話しました。宇和海の畔にある亀ヶ池は、地域にとって最も魅力があると、皆が口を揃えて言います。周辺には「亀ヶ池温泉」や「亀ヶ池周辺の広場」、「亀ヶ池物語」など、人が集まって交流できる場所があります。「亀ヶ池物語」は、町の移住・定住の拠点としての役割を模索している最中です。亀ヶ池周辺の資源を活かした地域活動を考えていきたい、との結論となりました。



●他の地域は、どのように魅力アピールしているのだろうか？

12 月 10 日に宇和島市への視察研修を行いました。みまきガーデンは、廃園になった御槇（みまき）保育所を活用し、地元の方が宿泊やランチバイキングによるおもてなしを行っています。企業組合いわまつは、地域の方々が「どぶろく」作りを通じ、様々なまちづくりイベントを実施されています。今回は、「どぶろく祭」を見学しました。帰りのバスの中、自分たちも何かやりたいとの参加者の声を聞くことができ、その後の話し合いが楽しみになりました。

●自分たちにできることは、何だろうか？

亀ヶ池もりあげん会さんの「湯あがりマルシェ」をみんなでもっと盛り上げたいとの声があがりました。また、地域の魅力である亀ヶ池の清掃を行い、綺麗に保ちたいとの声も出ました。活動拠点を自分たちの手で綺麗にしたいとの考えは、地域への愛着の表れです。このように、年齢を問わず、皆で集まってイベント、掃除、遊びなどを行いたいとの、前向きな意見が多く聞かれました。これらの活動を、1つずつ形にしていきます。

●最後に

伊方町では、宇和海側と瀬戸内海側に地区が点在しています。地区が異なると、文化や風習が異なるといっても過言ではありません。今回、複数の地区の住民が知恵を出し合い、一体となって地域のことについて話し合いました。これから更に具体的な取り組みに発展し、継続していければと、強く思います。

この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」 Facebook

●地域の活動情報の連絡先/この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236 E-mail: chiikiseisak@pref.ehime.jp

(公財)えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200 E-mail: info@ecpr.or.jp